

様式07 実施報告書

情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	主催団体	行事形式(※)	行事名
F006	中部放送技術フォーラム協議会	④	第35回中部放送技術フォーラム
開催日	開催場所	行事参加人数	Webサイト・URL
5月13日～ 14日	NHK名古屋放送センタービル9F 901会議室、902会議室	実地67人 オンライン354人	https://chubu-hoso-forum.jp/

行事実施概要・アピール等

2026年5月13日（水）、14日（木）の2日間、「第35回中部放送技術フォーラム」を開催した。
NHKと民間放送事業者が共同で行う本フォーラムは、東海北陸地域の31の放送事業者が参加している。
今年度もNHK名古屋放送センタービル901会議室を会場としてMicrosoft Teamsを活用した対面とオンライン併用によるハイブリッド方式で実施した。また、隣接の902会議室で実機展示を行い、その模様をTeamsで配信した。
Teamsオンラインでは参加に制限を設けず、フォーラム協議会加盟社及び後援、共催、協賛団体の加盟各社の希望者もフォーラムの視聴を可能とした。
発表件数は2日間で18件（NHK発表が6件、民放発表が12件）であった。内容は、番組制作・番組送出・システム開発、実証実験報告など、多岐にわたるテーマについて活発な発表・意見交換が行われた。
聴講者数は、会場参加者とTeamsによるオンライン参加者を合わせ、2日間で延べ421人となった。
901会議室とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催により、遠方からでも参加しやすく、効率的な情報共有と意見交換の場を提供することができた。

（1）研究開発発表

発表件数 18件（内訳 NHK6件、民放12件）
発表内容については、日頃の不便な点や問題点を解決した発表や、設備やシステムのIP化更新、生成AIを活用してのサービス開発等、創意工夫を凝らした報告が多かった。またメーカーに頼らず、内製で開発した報告も多かった。これら報告は放送サービスに関わる業務効率化とともに、新しいシステムやサービスを取り入れて、より一層の視聴者へのアプローチを強化しようとする意欲に満ちていた。

（2）特別講演

特別講演は2件を企画した。
【特別講演①】 「被災地支援とイノベーション」
名古屋工業大学大学院 教授 北川 啓介 氏

【特別講演②】 「国内トップクラスの通信環境へ ～IGアリーナ快適通信への挑戦～」
株式会社NTTドコモ 東海支社 ネットワーク部 部長 松田 直久 氏

(3) 実機展示

NHK名古屋放送センタービルの902会議室で実機3件を展示し、展示説明をスマホで撮影しながらTeams配信した。

- ①ビデオサーバー「Vitali（ヴィターリ）」の開発 石川テレビ放送 長田 悠希 氏
- ②動画再生プラットフォーム「.gallery」の開発 NHK福井放送局 大岡 真也 氏
- ③CNWの光量変化を利用した通知サポートシステムの開発 NHK名古屋放送局 齋藤 篤弘 氏

(4) 来賓挨拶

総務省東海総合通信局 放送部長 東條 悟志 様

(5) 基調講演

「放送インフラの維持・強靱化と施設整備政策の最新動向
中継局共同利用とブロードバンド等代替について」

総務省 情報流通行政局 放送施設整備促進課長 飯村 由香理 様

(6) 共催、協賛、後援

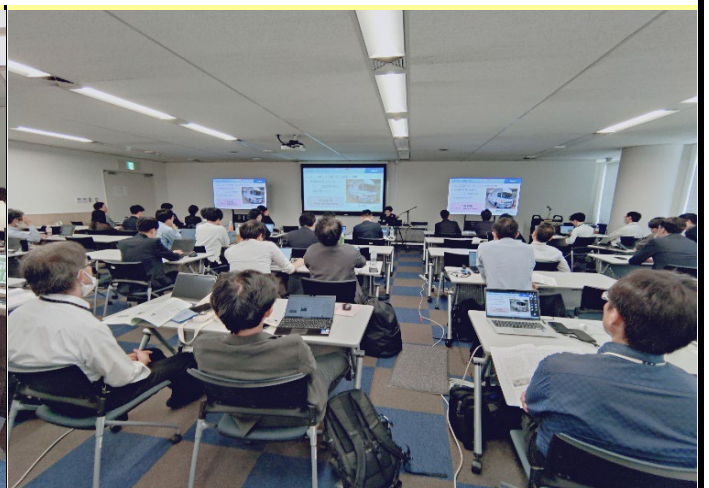
共催：映像情報メディア学会東海・北陸支部

協賛：東海受信環境クリーン協議会

協賛：北陸受信環境クリーン協議会

後援：情報通信月間推進協議会

後援：東海情報通信懇談会



第35回
中部放送技術フォーラム
5月13日(水)・14日(木)

- 主催 中部放送技術フォーラム協議会
- 共催 映像情報メディア学会東海・北陸支部
- 協賛 東海受信環境クリーン協議会
北陸受信環境クリーン協議会
- 後援 情報通信月間推進協議会
東海情報通信懇談会

